

令和7年度

ふくしの心

小学生向け福祉副読本



大 分 市
大分市社会福祉協議会



学 校 名		
学 年 ・ 組	5 年	組
	6 年	組
名 前		

はじめに

わたしたちの周りには、さまざまな人々が生活しています。

その中には、赤ちゃんや高齢者、健康な人や病気の^{しょう}人、障がいのある人たちがいます。

みんなが幸せに暮らせるまちは、だれもが生きがいを持ち、安心して^{かいてき}快適に、共に生活できる住みよいまちです。

それは、心と心のふれ合う、思いやりとやさしさにあふれるまちでもあります。

そんなまちにするためには、家庭や学校、^{ちいき}地域の中で、みんながおたがいに助け合い、^{ささ}支え合い、はげまし合い、共に協力し合っていくことが大切です。

わたしたち一人ひとりが、どんな気持ちで、どのように行動したらみんなが幸せになることができるのか、いっしょに考えてみましょう。

もくじ

1. 明るい家庭 1
2. ^{こうれいしや}高齢者と共に 7
3. ^{しょう}障がいをこえて 15
4. わたしたちにできること 23
5. ^{ふくし}福祉ってなんだろう 31

1 明るい家庭



●大分市人権フォトコンテスト最優秀賞「じいじと一緒に」

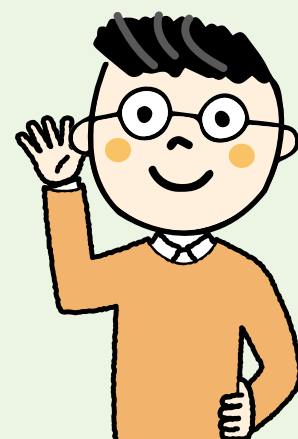
1 よりよい家庭を願って

家庭とは、生活のもとになる場であり、家族みんなのいこいの場です。
なんでも話し合い、おたがいが深い愛情や信頼^{あいじょう しんらい}で結ばれることが大切です。

お父さんのお話

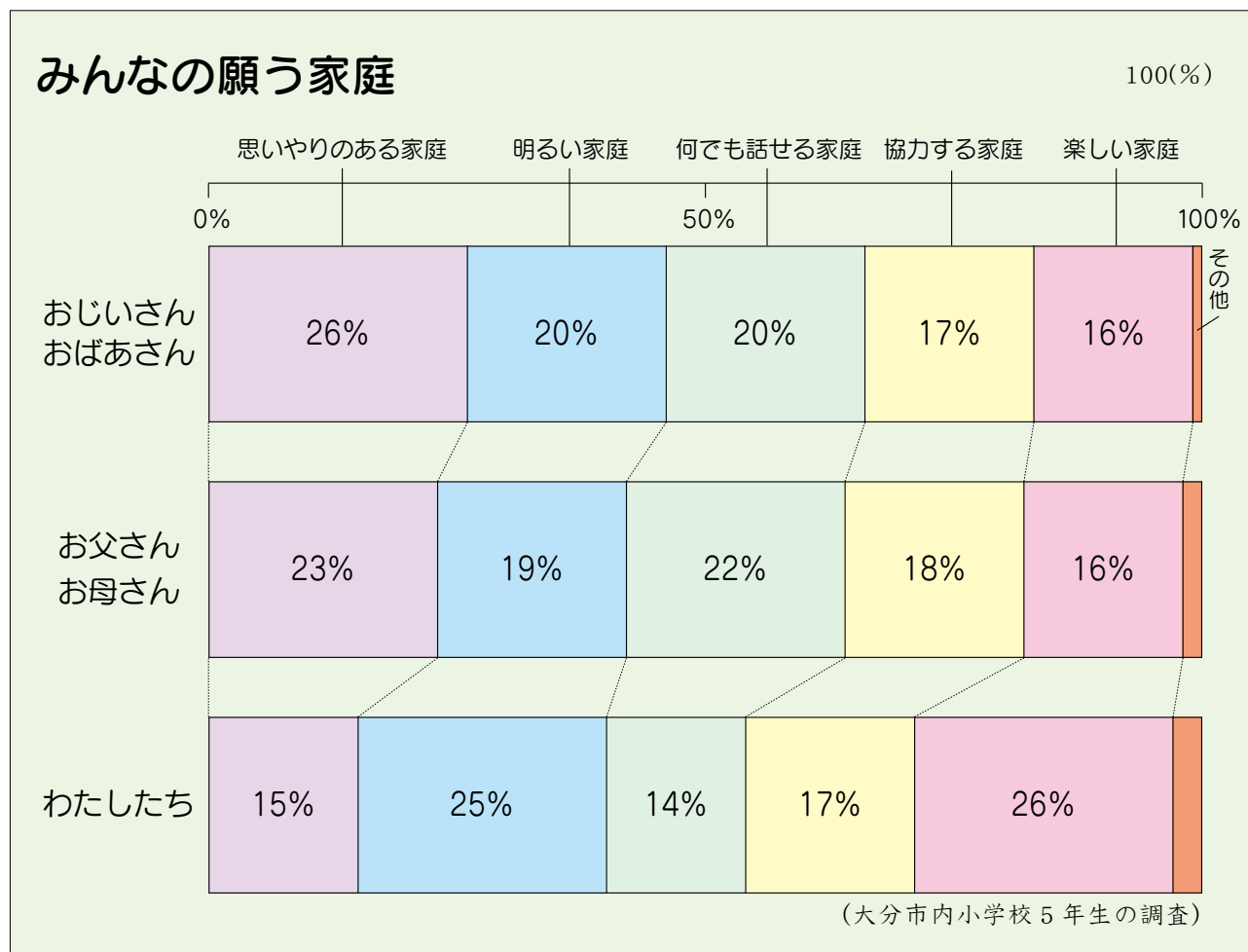
家族のみんながいつまでも健康で安心して暮らせることがわたしの願いです。そして、家族の一人ひとりが、思いやりの心をもって助け合える家庭になったらいいなと思っています。それには、良かったこと、困^{こま}ったことなど、なんでも話せる明るい家庭になるように努力しなければなりません。

家族みんなが協力すれば、どんなにつらいことも乗り越えていけそうです。

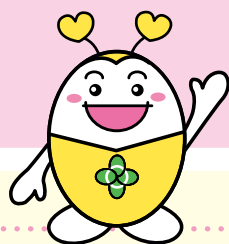


みんなの願い

家族のみんなは、どんな家庭を願っているのでしょうか。大分市内の小学校で次のような調査をしました。



わたしたちが願っている楽しい家庭や明るい家庭は、「思いやりの心」が基本になればならないのではないのでしょうか。家族のみんなが、おたがいを思いやることで、明るく楽しい家庭がつけられていきます。



あなたは、どんな家庭を願っていますか。おうちの人はどうでしょうか。

大分市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふくしのピロロちゃん」

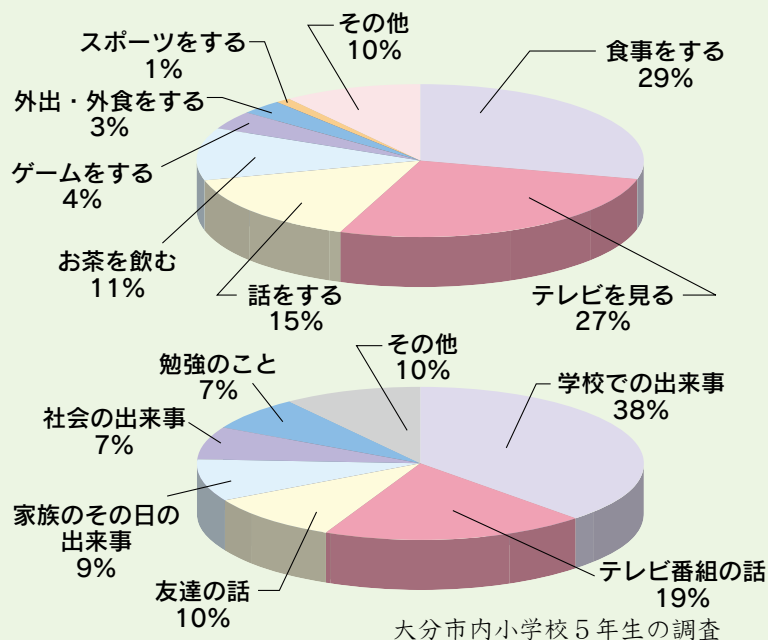
家族のだんらん

家族のみんなが集まってなごやかに過ごすことで、心のやすらぎが生まれ、
 温かい家庭ができてきます。

だんらんのようす

家族でよくいっしょ
 にすることはどんなこ
 とですか。

家族でよく話すこと
 はどんなことですか。



家庭の日

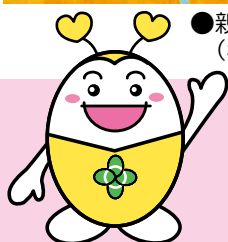


●親子走り方教室
 (植田公民館「家庭の日推進事業」)



●親子陶芸教室
 (大分西部公民館「家庭の日推進事業」)

大分県では毎月第3日曜日を「家
 庭の日」と定めて、家族のふれ合い
 を大切にする取組をしています。



あなたの家庭では、「家庭の日」をどのように過
 していますか。

2 家族の助け合い

明るく楽しい家庭を^{きず}築いていくには、家族みんなが協力し、おたがいに助け合っていくことが大切です。

働くお父さんやお母さんのお話

仕事をして帰ると、一番にすることは、夕食の用意です。外の仕事でとてもつかれているので、少し休みたいけど、家族のみんなのために夕食の用意をします。

他にもする家庭の仕事は多いけど、子どもたちが、洗^{せん}たく物を取り入れてたたんだり、食器洗いをしてくれたりしています。



毎日、仕事はいそがしいけれど、家族のみんなが、家庭の仕事をしてくれるので助かっています。

家庭の仕事で、特にそうじなど日ごろできないところは、家族全員がそろそろ休みの日にします。みんなが協力してくれるので、早く終わり、とてもうれしいです。

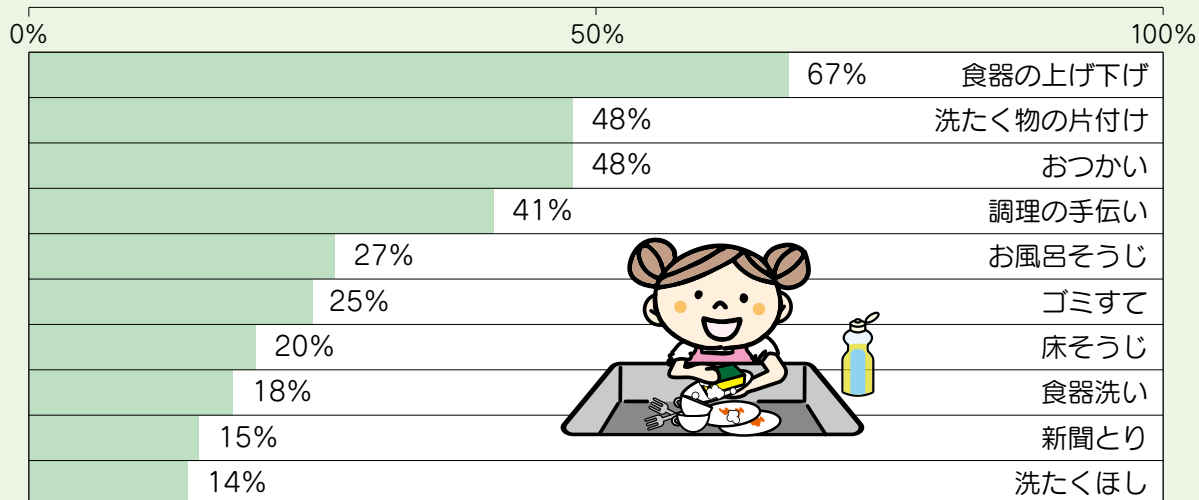
家族の^{やくわり}役割

わたしたちは、家族の一員として、おたがいの立場や役割を知り、家庭の仕事を^{ぶんたん}分担しています。自分ができることは、進んでチャレンジしてみましょう。

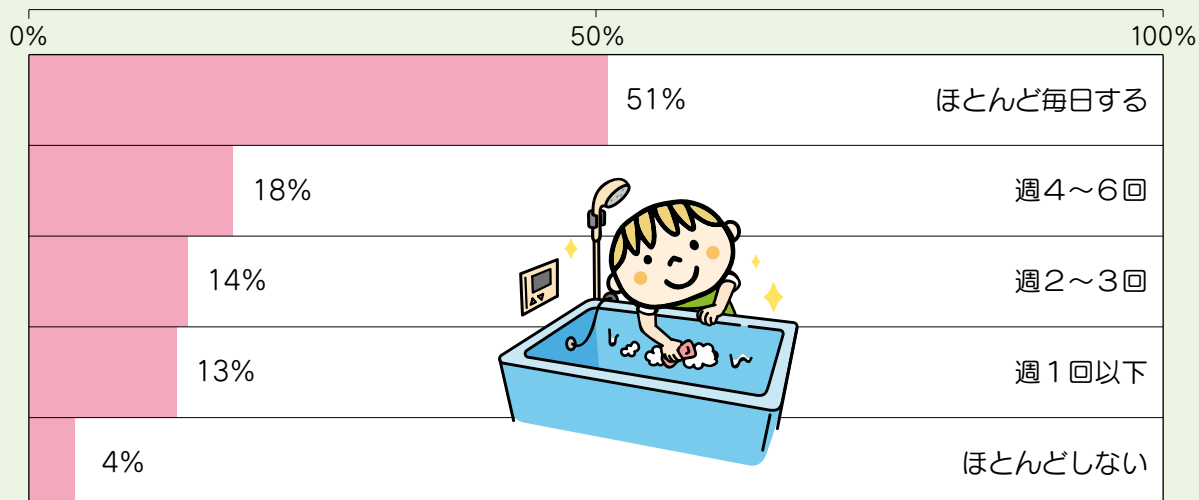
小学生の家庭の仕事

(大分市内小学校5年生の調査)

★どんな家庭の仕事をしていますか

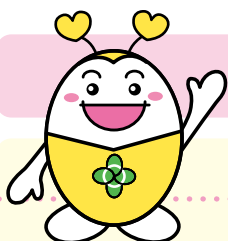


★あなたはどれくらい家庭の仕事をしていますか



家庭の仕事をしている人が多いですね。

家族の役割や家庭の仕事の分担について考え、自分にできる仕事を見つけ、進んで実行しましょう。



自分にできる仕事を見つけましょう。

3 わたしと家族

家庭でのそれぞれの役割^{やくわり}を考えることが、家族のつながりをよりいっそう深め、明るい家庭^{きず}を築くことになります。

お父さんとお母さん

小 2 作文

ぼくのお父さんとお母さんは、耳が聞こえません。小さいときぼくは、「ママ、パパ、どうしてぼくの声が聞こえないの?」と思いました。聞こえないから、「こわいかな?」とも、思いました。

お父さんとお母さんは、手話で話します。ぼくはあんまり手話ができません。だから、ぼくの言っていることがわかっているかどうかふあんになります。

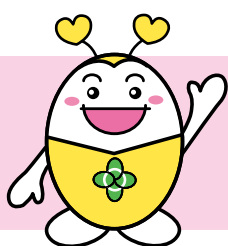
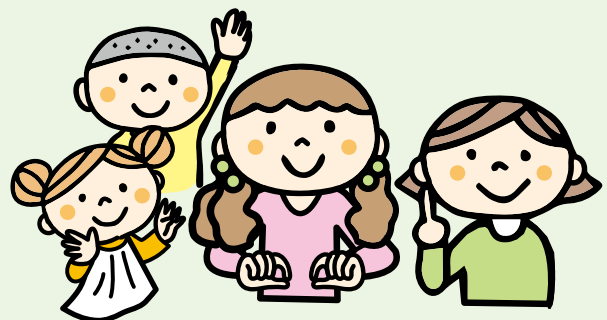
れんらくちょうに、わすれもののことを書いて、「これなに?」って言われたから、手話で言ったけど、わかってくれなかったのでふあんでした。

ぼくは小さいころ、手話ができませんでした。A 兄ちゃんが、いっしょに、手話をしてくれました。

一年生のとき、A 兄ちゃんから、手話を教えてもらいました。あそび、しゅくだい、おかし、ごはん、おはよう、かい物、しごと、じてんしゃが言えるようになりました。手話ができるようになってうれしかったです。

これからもたくさん手話をおぼえたいです。お父さんとお母さんのために、手話つうやくをしてあげたいです。

お父さんやお母さんのともだちも、耳が聞こえません。その人たちともなかよくなりたいから、もっと手話をおぼえていきたいです。



自分の家族を見つめて、明るい家庭をつくるために、あなたはこれから先どんなことができますか。

2 こうれいしゃ 高齢者と共に



●大分市健康生きがい賞

1 社会につくした高齢者

敬老の日

9月の第3月曜日は「敬老の日」です。長い間、社会のためにつくしてきた高齢者を敬うやまい、長寿ちょうじゅをお祝いする日です。

大分市では、社会奉仕活動など地域で活躍されている高齢者の表彰を行っています。また、市長が最高さいこうれいしゃ齢者を祝福訪問しゅくふくほうもんして、お祝いをしています。

高齢者に学ぶ



●もうすぐ完成だよ わらじづくり



●うまいなあ リム回し



●どこにあるのかな カルタとり

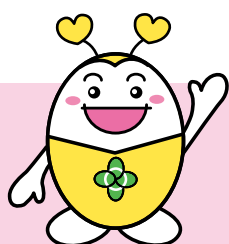


●かわいくなってきた お手玉づくり



●米作りはたいへんだね

高齢者とのふれ合いを通して、豊かな経験やちえ^{けいけん}を学びましょう。



あなたはこれまでに、高齢者とのふれ合いを通して、どんなことを学んできましたか。

2 ふ える 高齢者

日本国民の平均寿命は、男性が81.09歳（世界第5位）、女性が87.14歳（世界第1位）であり、世界でもトップクラスの長寿国です。（厚生労働省 令和5年簡易生命表）

また、65歳以上の高齢者は3,623万人と増え続けており、総人口に占める高齢者の割合（高齢化率）は29.1%に達しています。

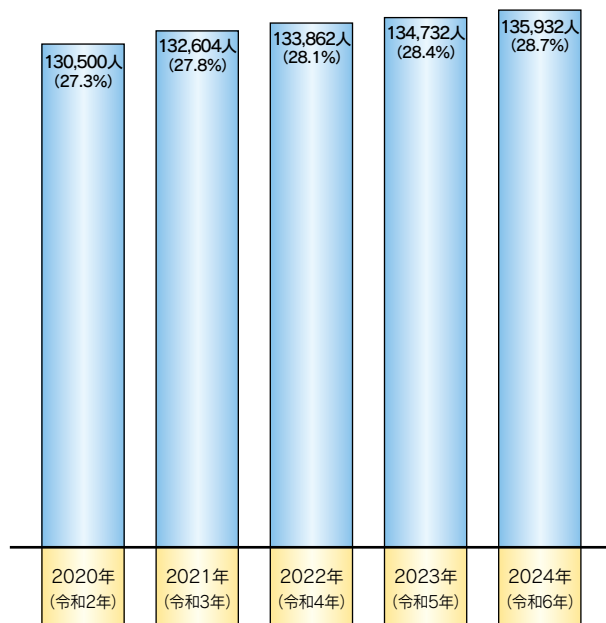
（厚生労働省 令和6年版高齢社会白書）

大分市の高齢者は、令和6年9月末時点で135,932人、高齢化率は28.7%です。全国と同様に高齢者が増え続けています。

市内には男性18名、女性230名、合わせて248名の100歳以上の方がいます。その中で最高齢の方の年齢は110歳です。

（令和6年9月末現在）

●大分市の65歳以上の高齢者の数
および総人口との割合



（各年9月末日現在）

（令和6年9月末現在 大分市総務課HPより）

年齢（各歳）	大分市計		
	計	男	女
総数	473,157	227,729	245,428
65歳	6,034	2,830	3,204
66歳	5,647	2,617	3,030
67歳	5,598	2,650	2,948
68歳	6,124	2,847	3,277
69歳	6,031	2,775	3,256
70歳	5,900	2,752	3,148
71歳	6,465	3,011	3,454
72歳	6,426	2,998	3,428
73歳	6,820	3,103	3,717
74歳	6,920	3,197	3,723
75歳	7,597	3,444	4,153
76歳	7,298	3,319	3,979
77歳	6,553	2,941	3,612
78歳	4,041	1,765	2,276
79歳	4,161	1,785	2,376
80歳	4,807	2,048	2,759
81歳	4,387	1,861	2,526
82歳	4,363	1,813	2,550
83歳	4,109	1,724	2,385
84歳	3,404	1,396	2,008
85歳	2,910	1,111	1,799
86歳	2,847	1,114	1,733
87歳	2,826	1,004	1,822
88歳	2,381	799	1,582
89歳	2,207	724	1,483
90歳	1,953	593	1,360
91歳	1,795	564	1,231
92歳	1,395	415	980
93歳	1,246	326	920
94歳	920	225	695
95歳	828	208	620
96歳	569	119	450
97歳	455	89	366
98歳	300	56	244
99歳	196	28	168
100歳	171	21	150
101歳～	248	18	230
65歳以上	135,932	58,290	77,642

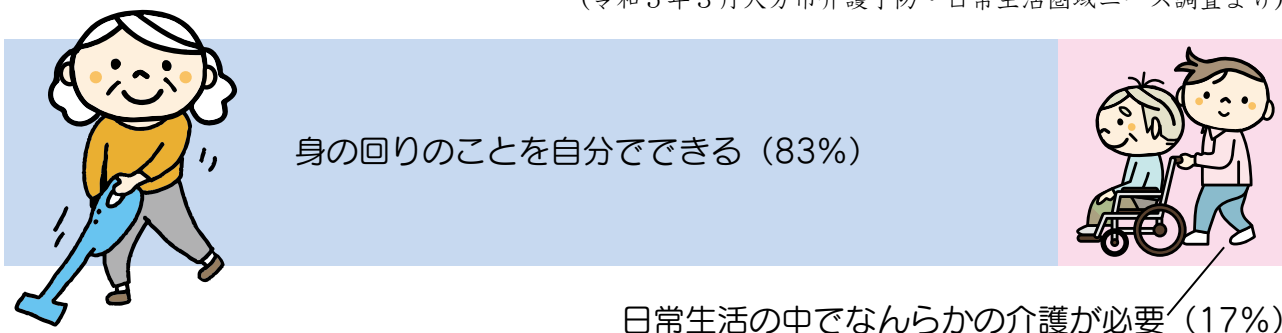
3 こうれいしゃ 高齢者の暮らし

高齢者の生活

健康で、明るく、楽しく、できるだけ長生きしたいというのは、みんなの願いです。

高齢者の生活について調べてみました。

(令和5年3月大分市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)



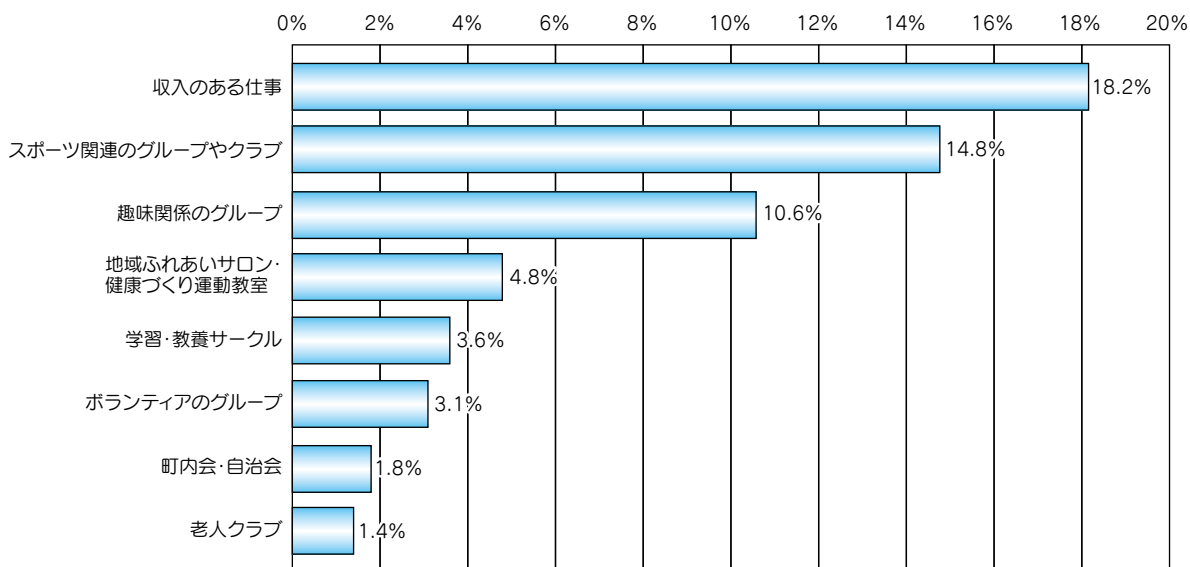
高齢者の生きがい

高齢者の多くは、元気に日常生活を送っています。高齢者は、どんなことに楽しみや生きがいを感じながら、活動に参加（参加希望）しているのでしょうか。

●高齢者の地域での活動について

活動への週1回以上の参加状況

(令和5年3月大分市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)



●働く喜び



●せんてい作業

●しゅみを活かす



●スポーツ活動

●仲間と共に

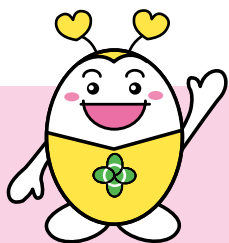


●グラウンドゴルフ大会

●楽しく活動



●歌声サロン



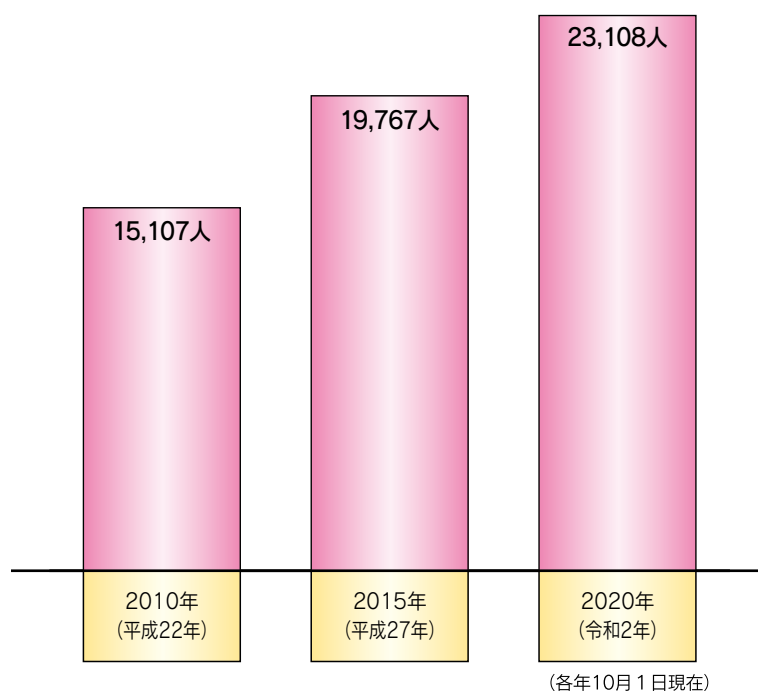
高齢者に、楽しみにしていることや生きがいを感じていることについてたずねてみましょう。

ひとり暮らしの高齢者

高齢者の中には、ひとりで暮らしている人もいます。ひとり暮らしの高齢者は、年々増えていきます。

ひとり暮らしの高齢者は、どんなことを楽しみにしているのでしょうか。また、心配なことや困っていることはないのでしょうか。

●大分市のひとり暮らしの高齢者の数（65歳以上）

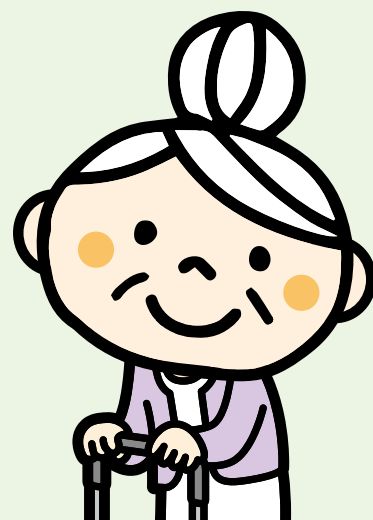


ひとり暮らしのおばあさんのお話

年をとり、ひとりだと、夜、急に病気にならないかと不安です。友人は、「ヘルパーさんのおかげで、ひとり暮らしが続けられ助かる。」と言っていますが、先のことを考えると心配は多いです。

でも、孫たちが遊びに来て、わたしの作ったものを「おいしい。」と言って食べてくれるときはとても幸せです。孫たちのすこやかに成長していく姿を見るのが楽しみで、自分もがんばらなくてはとほげまされます。

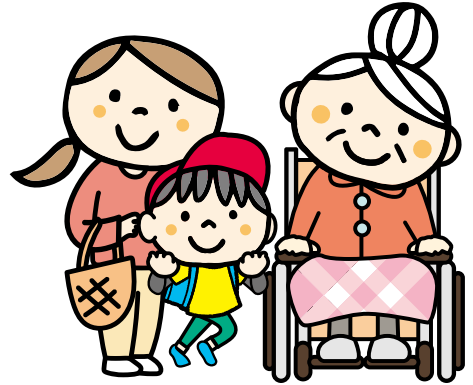
また、友人と温泉に行ったり、作った野菜や料理を食べながらおしゃべりをしたりするのも楽しみの一つにしています。



かいごほけんせいど 介護保険制度

超高齢社会をむかえ、元気に暮らしている高齢者が多くなってきましたが、中には、身体具合が悪くなり、食事、入浴、排せつなどの日常生活で、身の回りの世話や手助けが必要な高齢者も多くなっています。

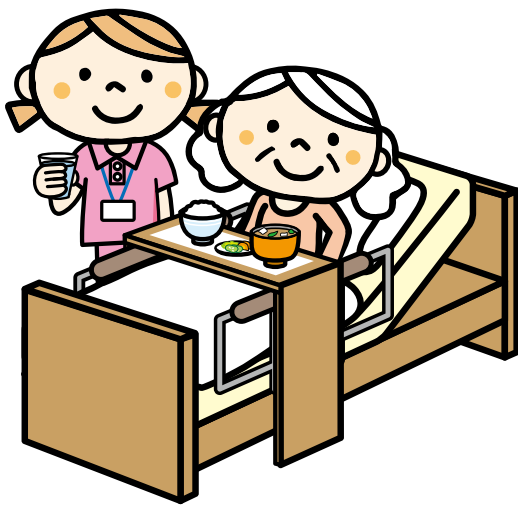
この世話や手助けをすることを「介護」といいます。高齢者が介護を受けながら、家庭や住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようにすることが大切です。



以前は介護をするのは主に家族の人で、その多くは女性でした。中には、介護をする人が高齢者の場合もあり、大きな負担になることが問題となっていました。

そこで、このような介護の負担を軽くするために、平成12年4月から、みんながおたがいに助け合って介護に必要なお金を出し合い、そのお金で必要な人が「介護サービス」を受けることができるようにする「介護保険制度」が実施されるようになりました。

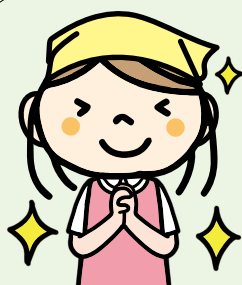
介護のために出し合うお金を「保険料」といい、40歳以上の人が支払います。保険料は最終的に市町村に集められて介護サービスを必要とする人のために使われています。



介護サービスには、ホームヘルパーや看護師などに家に来てもらったり、または、本人が家から施設に通ったりしてサービスを受ける「居宅サービス」と、本人が特別養護老人ホームや介護のための病院などの施設に入って介護を受ける「施設サービス」があります。

介護が必要な高齢者

高齢者の中には、食事・入浴・排泄などについて介護が必要な人がいます。これらの人は、自宅で家族やヘルパーの支援を受けたり、老人ホームで職員の支援を受けながら生活しています。



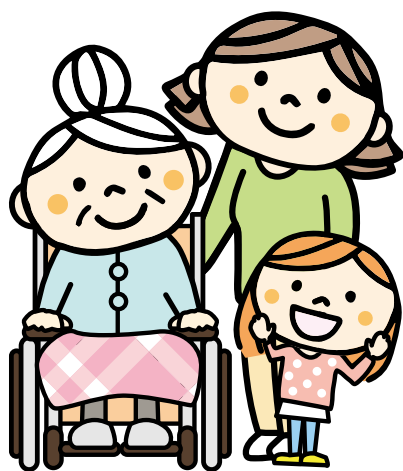
家族の人のお話

毎日、身の回りの世話で、いそがしくて大変です。

でも、ヘルパーさんが来てくれたり、移動入浴車が来てくれたりする日は、とても助かります。



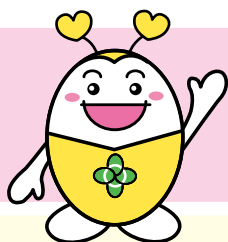
●お風呂はとてもいい気持ち



●お話できてうれしいよ

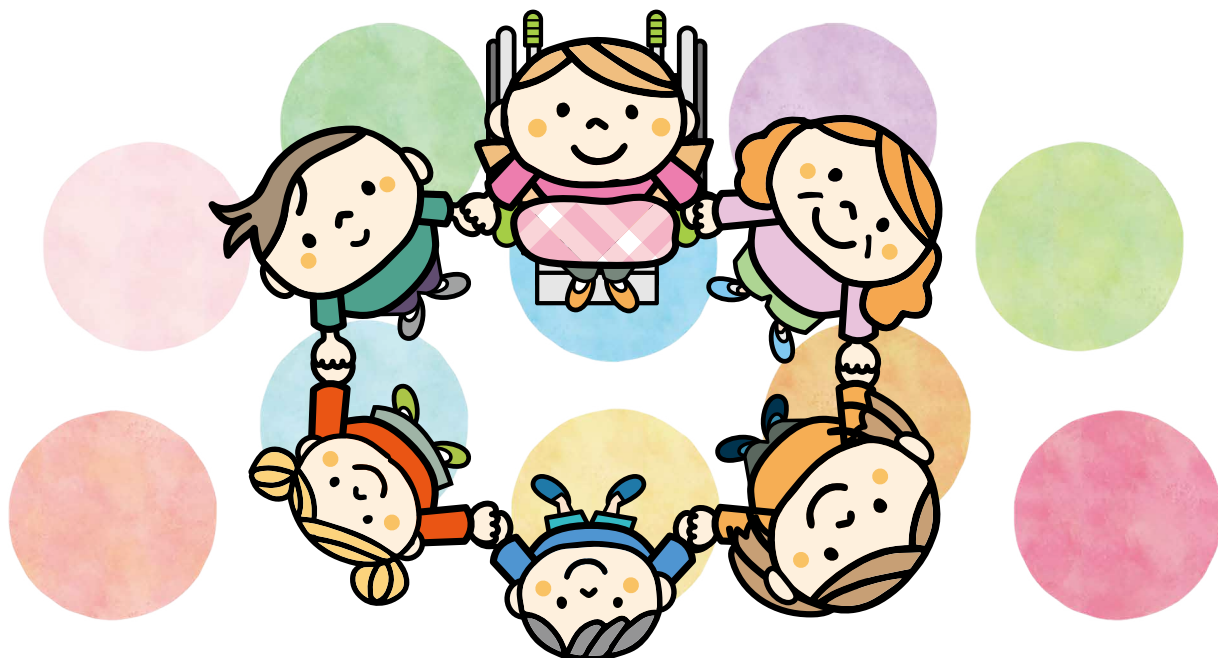
特別養護老人ホームの 高齢者のお話

お風呂に入れてもらったり、みんなといっしょに食事をしたりして楽しく過ごしています。子どもさんやボランティアの人がホームに来てくれてお話をするときが楽しみです。



ひとり暮らしや介護の必要な人のために、わたしたちにどんなことができるのでしょうか。考えを書いてみましょう。

3 しょう 障がい を こ えて



1 障がいのある人への思いやり

みんな同じ仲間

わたしたちのまちには、子どもやおとなや高齢者、男の人や女の人などいろいろな人々が暮らしています。

しかし、わたしたちのだれもが、心身ともにすこやかに生まれ、育っていくわけではありません。中には、目や耳、手や足などに障がいのある人もいます。

障がいは、生まれる前や生まれてからの病気やけが、あるいは交通事故などいろいろな原因によって起きます。

●障がいのある人の数

(令和6年4月1日現在)

目 に 障がいのある人	1,124人
耳 や 口 に 障がいのある人	1,943人
手 や 足 に 障がいのある人	10,965人
心臓やじん臓などに障がいのある人	6,320人
知的 障がい の ある 人	4,857人
精 神 障がい の ある 人	6,220人

(大分市福祉事務所障害福祉課調べ)

また、原因が全く分からない場合もあります。

障がいのある人もない人も、みんな同じ仲間として、おたがいに^{ささ}え合っ
て暮らしていくことが大切です。

お母さんの願い



わたしは、^{じへいしやうけいこう}自閉症傾向のある子どもの母親です。親としてのわたしの願いは、子どもに友だちができることです。そして、社会に出てからも、人と^すかかわり合いながら^す過ごしていけるようになることです。

「^{ちりやうほう}自閉症」は、今でも原因や治療法が見つかっていない生まれつきの^{のう}脳の障がいだといわれています。でも、心はみんなと同じようにうれしかったり、悲しかったりします。その気持ちをうまく話せないのが、みんなに伝わりにくいのです。そのため^{ごかい}誤解されることがあり、それがきっかけでいじめにあっ

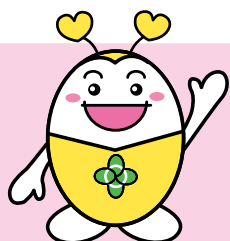
てしまうこともあります。

みんなとちがうところは、その子の^{こせいい}個性だと思ってほしいのです。けれども、その個性は、自分勝手に見えたり、知らないうちに相手を^{きず}傷つけてしまったりすることも少なくありません。

いっしょに何かをするときは、その仕方を^{かんたん}簡単なわかりやすい言葉で教えてください。たとえば、「今は、すわりましょう。」「今から手を洗いましょう。」など、今は何をしないといけないかをはっきり教えてあげてください。また、「そうじのときは、長い時計の針が6から10になる間に、中央線の所から窓の所まで全部ふいてね。」など、目で見てすぐにわかる方法はとても^{こうか}効果があります。

みんなと少しちがうけれど、つきあい方さえわかればすぐに友だちになれるのです。個性が強いだけで、みんなと同じなのです。

どうか「^{じへいしやうけいこう}自閉症」も個性だと思ってつきあってみてください。

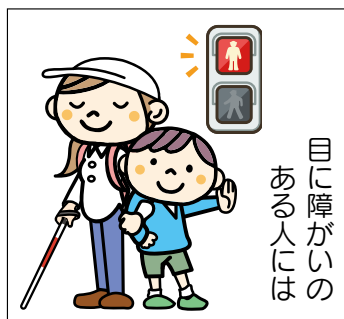
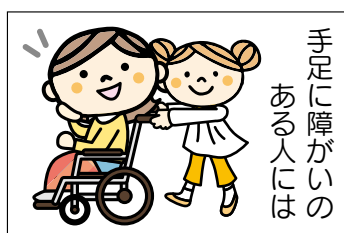


障がいのある人とお友だちになるためには、わたしたちはどんな^{せつ}接し方をすればいいと思いますか。考えを書きましょう。

思いやりの心

障がいのある人も、一人ひとりががんばって生活しています。でも、みんなと同じようにはできないこともあります。学校やまちで困っている人を見かけたら進んで手助けをしましょう。

●体に障がいのある人への手助け



●ヘルプマークを知っていますか

義足の方など、外見からは分からなくても手助けや気遣いを必要としている人が、周囲の人に気遣いを必要としていることを知らせることで、手助けを得やすくなるように作成されたマークです。



●もうどうけん 盲導犬 (目に障がいのある人の目となってゆうどうしてくれる犬)

人にはえたり、かみついたりしないように、^{きび}厳しい訓練を受けています。かわいくても、声をかけたり、手を出したり、食べ物をやったりしてはいけません。ハーネス（人と盲導犬をつなぐ器具）をつけているときは仕事中なのです。



●盲導犬とのふれあい学習

● ^{ちょうどうけん}盲導犬のほかに ^{かいじょけん}聴導犬（耳に障がいのある人に音を知らせる犬）、^{けんけん}介助犬（手や足など体に障がいのある人の生活の手助けをする犬）がいます。これらを合わせて、^{ほじょけん}補助犬といいます。

2 障がいを乗り越えて

わかりあう心

体に障がいのある子どもや体の弱い子ども、知的障がいなどのある子どもたちのための学校や学級があります。将来、自分の力で生活できるように、障がいの状態に^{しょうたい}応じて^{おう}訓練や勉強にはげんでいます。

くじけない妹

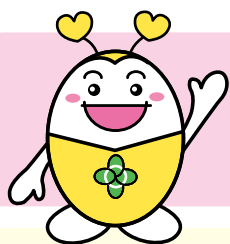
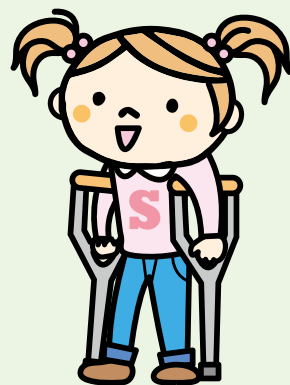
児童作文

ぼくの妹は、生まれてすぐせきずい^{しゅじゅつ}の手術をしました。そのため、足にマヒがあり^{そうぐ}装具をつけて生活をしています。装具をつけると、ひざを曲げて歩けないため、1年生のころは他のクラスの子や上級生に「ロボット。ロボット。」と、よくからかわれていました。妹は、家でよくくやしがっていましたが、泣くことはありませんでした。ぼくは、妹はすごいなと思いました。

また、去年のマラソン大会では、「ビリでもいい。走りたい。」と、言い出したのです。妹には、ぼくにはない強い^{せいしんりよく}精神力があるんだなと感じました。障がいがあるからできないとあきらめるのではなく、自分にできることを^{せい}精いっぱいやろうという強さや勇気を、妹から教えてもらったと思います。

妹は去年、今年と手術をしたので、この2年間ぼくの家族はどこへも行けませんでした。だけど、手術の後で遠くまで歩くことができない妹のことを考えると、ぼくもがまんしなくちゃと思います。だれより、夏休みに外へ出られないでくやしがっているのは妹のはずです。

2学期が始まると妹は、松葉づえと車いすの生活です。母は「ろうかは車いすで移動したほうがいいよ。」というのですが、妹は「松葉づえで歩けるように練習するからだいじょうぶ。」とがんばっています。これからも、ぼくは、妹の足が一日でも早く治るよう^{いどう}応援したいと思うし、妹のようにくじけない強い心でがんばります。



障がいのあるお友だちの学習や訓練の様子からどんなことを学びましたか。感想を書きましょう。

自立をめざして

障^{しょう}がいのある人たちが、将来、社会に出て、自立していけるように、仕事に必要な技術を学んだり、社会生活の仕方の訓練にはげんでいます。

障^{しょう}がいのある人たちを支援^{しえん}している人のお話

しんけんに取り組める仕事があり、働いて得たお金で生活を楽しめることが幸せの基本です。障^{しょう}がいのある人にとってもそのことは変わりません。

大分市にはたくさんの福祉施設^{ふくししせつ}があります。そこでは、自立に向けて仕事の仕方を学んだり、社会生活をするために必要な訓練を受けたりしている障^{しょう}がい者がたくさんいます。しかし、自立して生活していくことは決してたやすいことではありません。本人の努力とともに、周りの人たちの温かい理解^{りかい}と適切な支援^{てきせつ}が大切です。

(大分市手をつなぐ育成会会長)

元気に働く人々

障^{しょう}がいを乗り越えて、明るく力強く生活している人がたくさんいます。



●障^{しょう}がいを乗り越えて、おいしいパンを作っています。
(障害福祉サービス事業所「ペパーミント」のみなさん)



●左腕^{うで}だけでも毎日仕事にがんばっています。

3 共に歩む

障害者週間

12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めています。わたしたち一人ひとりが障がいのある人に対する理解をさらに深めるとともに、障がいのある人が社会生活に積極的に参加する気持ちを高めることを目的としています。



●輪い笑いフェスタ！大分市福祉のつどい

障害者差別解消法の施行

障がいのある人もない人も分け隔てなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会をつくることを目的として、2016年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称：障害者差別解消法）が制定されました。この法律では、国や県・市町村などの行政機関や民間事業者が、障がいを理由とした差別をなくすための措置を定め、それを実施することが規定されています。

全国障害者スポーツ大会



●障がいを乗り越え激しいスポーツに挑戦する車いすバスケットボールの選手たち

「全国障害者スポーツ大会」は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験し、多くの人々が障がいのある人に対する理解を深めることによって障がいがある人の社会参加が促進されることを目的とする障がい者スポーツの祭典です。

平成13年から国民体育大会（国民スポーツ大会）の開催が都道府県で行われています。平成20年は大分県で開催されました。令和7年度の大会は、滋賀県で開催されます。

まちのなかにやさしさが

わたしたちが住んでいる大分市では、障^{しょう}がいのある人たちが生活しやすいようにいろいろなくふうがされています。

この工夫はバリアフリー（障^{しょう}がいのある人が使いやすいようにさまたげとなるものを取り除^{のぞ}こうとする考え方）やユニバーサルデザイン（障^{しょう}がいのある人をはじめとして、だれにでも使いやすいように物や建物を作ろうとする考え方）によって行われています。

●点字ブロック



点字ブロックは、2種類あるよ。細長いのは、進む方向を示しているんだよ。



丸いブロックは注意や警告を示しているので、ここで一度止まって次の行動に移るんだよ。



●点字案内表示



●エレベーターの行き先を点字で表示しています。

●音きょう式信号機

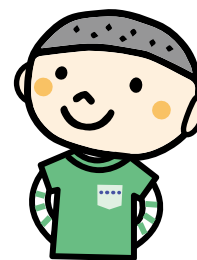


●曲や音で進む方向や信号の変わったことを知らせます。

●多目的トイレ



車いすが自由に動かせるように広くしているね。手すりも付いていて使いやすくしているよ。入口のドアがスライド式になっているよ。



●障がい者や赤ちゃんといっしょの人などが使うのに便利です。

●エレベーター



エレベーターの中の鏡は、車いすで後ろ向きに降りても危なくないように付いているんだよ。



●車いす用スロープ



●低いカウンター（市役所）



●車イスのまま書類を書くことができます。

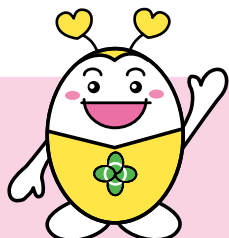
次のようなシンボルマークを見かけたことはありませんか。



障がいのある人が利用しやすい建物や施設を示すマークです。



目に障がいのある人が利用しやすくするために、注意をうながすマークです。



あなたの校区には、障がいのある人たちが生活しやすいようにくふうされたものがあるでしょうか。見つけたものを書きましょう。

見つけたもの	見つけた場所	生活をしやすい工夫

4 わたしたちにできること

1 わたしも大切 あなたも大切

人間らしく生きるために

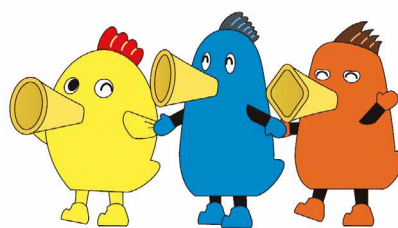
すべての人間は、生まれながらにして自由・平等であり、人間らしく生きる権利^{けんり}をもっています。したがって、障がい^{しょうがい}のある人もない人も、高齢^{こうれい}者^{しゃ}であっても子どもであっても、一人ひとりが尊重^{そんちょう}されなければいけません。

一人ひとりを尊重するということは、わたしたち一人ひとりが、自分の大切さとともに他の人の大切^{みと}さを認めていくことです。

※「おおいた人権フェスティバル」では、子どもから大人まで様々な年代の市民が参加交流できる啓発活動^{けいはつ}、人権の大切さを考える講演会^{こうえん}や演劇^{えんげき}、人権作品コンクールなどを行っています。



●おおいた人権フェスティバル



大分市人権イメージキャラクター「キズナーズ」

人と人とのつながりを

あなたは、学校で困^{こま}っている友だちがいたら、どうしますか。きっと声をかけ、何かできることはないかを一緒に考えると思います。

もし、地域^{ちいき}で困っている人がいたら、学校で友だちに声をかけるように、進んで声をかけ、何かできることがないかを一緒に考えると、地域の人とのつながりも深まっていきます。

相手の立場に立って

自分にとっては特に気にならないことでも、相手にとっては言われたくないことや話したくないことがあります。

また、「障がいのある人は、かわいそうな人だ」と決めつけた見方をしたり、「高齢者は、あまり出歩かず、家にいた方がいい」と自分の考えを相手におしつけたりすると、相手を傷つけてしまうことがあります。

人と人がつながるためには、相手の立場に立って考えることが大切です。



●人権啓発センター（ヒューレおおいた）での高齢者擬似体験活動

自分のこととして

だれもが年をとり、いずれは高齢者になります。また、だれもが生活の中で車いすやつえなどを必要とする可能性^{かのうせい}があります。

わたしたちは、高齢者や障がいのある人にとって住みやすいまちづくりをしていくことを、他人ごとではなく、自分のこととして考えていくことが大切です。



●2024 大分市人権フォトコンテスト入選作品
「じいちゃんとおひ孫」

大切なのは行動すること

わたしたちは、一人ひとり個性があり、得意なことや好みなどがちがいますが、大切な存在であることはみんな同じです。

だれもが幸せに暮らせる住みやすいまちづくりを進めていくためには、一人ひとりが、様々な人のために自分にできることを考え、行動することが大切です。



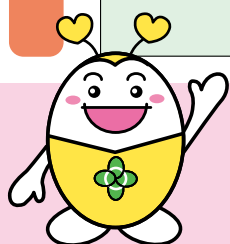
●おおいた人権フェスティバル
人権ポスター優秀作品

心をつなぐ言葉

あいさつ運動



小さな親切運動



みなさんの学校での「あいさつ運動」「小さな親切運動」の取り組みをふり返ってみましょう。

2 ボランティア活動

ボランティアとは

ボランティアとは、住みよい社会をつくるために、自分から進んで社会や人のために役立つ活動をしている人たちのことをいいます。

ボランティア活動は、心と心のふれ合いをめざす思いやりと助け合いを大切にする活動です。やさしい思いやりの気持ちがあれば「だれでも」「いつでも」「どこでも」できる活動です。



●ボランティア活動啓発・普及ポスター

学校でのボランティア活動

多くの学校で、いろいろなボランティア活動が、積極的に行われています。この活動を通して、人と人とのふれ合いを深め、相手の立場や気持ちを理解し、おたがいに協力し合って生きていくことの大切さを学びましょう。



●ボランティア活動をする小学生

そして、ボランティア活動を体験することによって、やさしさや思いやりのある心を育て、学校だけでなく、日ごろの生活の中で、取り組むことができるように努力しましょう。

人のためになる大切なボランティア

児童作文

私たちの西の台小学校には、ボランティア委員会があります。ボランティア委員会の主な活動は、①空き缶・ペットボトルキャップの資源の再利用②「書き損じはがき」の寄付の二つです。

①では、各家庭で出た空き缶とペットボトルキャップを毎週二回に分けて回収しています。集まった数を昼の放送で知らせ、全校のみんなに呼びかけています。その集まった空き缶で車椅子を買って、福祉施設に寄付しています。ペットボトルキャップは、お店に持っていき、「世界の子どもにワクチンを届ける活動」として参加しています。「病気で苦しむ世界の子どもたちの力に少しでもなれたらいいな。」と思っています。

②では、一月に「ユニセフと愛のともしび運動」の活動に参加し、「書き損じはがき」「使用済み切手」の回収をしています。毎年、たくさんの「書き損じはがき」「使用済み切手」を全校のみんなが持ってきてくれます。一人ひとりの力は小さいけれど、西の台っ子みんなで力を合わせて、大きな力にしていきたいと思います。困っている人たちの力になれることが、とてもうれしいです。

これからも、もっと多くの人の役に立つようなボランティア活動を目指して、がんばっていききたいです。



●空き缶とペットボトルキャップの回収

3 さまざまなボランティア

思いやりのある、温かいまちづくりのために、家庭や地域、会社などで多くの人たちが活動に取り組んでいます。



家庭で

- ・高齢者との手紙交かん
- ・空きかん集め
- ・募金の協力
- ・花のなえづくり
- ・留学生の受け入れ
- ・ベルマーク集め
- ・書きそんじのはがき、使用済み切手、ペットボトルキャップ集めなど

地域で

- ・高齢者訪問
- ・交通安全のための活動
- ・地域の人々との交流
- ・あいさつ運動
- ・清掃活動
- ・空きかん集め
- ・子ども会や敬老会の手助け
- ・地域の伝統文化、郷土芸能の伝承など
- ・登下校時の見守りパトロール

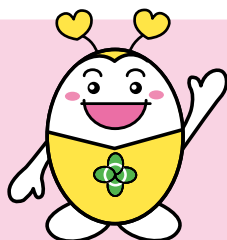
ボランティア活動の輪

施設で

- ・高齢者の話し相手
- ・清掃活動
- ・施設行事への参加
- ・身の回りの手助けなど
- ・演劇や歌などでの訪問

会社などで

- ・通院などの高齢者の送げい
- ・施設内の水道や電気などの点検活動
- ・地域行事のお手伝い
- ・国際援助のための物資集め
- ・理容美容サービスの提供
- ・地球環境保護活動
- ・講演会や演奏会、美術展などの開催



わたしたちのまちでは、たくさんの人がさまざまな所でボランティア活動をしています。上の表を見て、参加したことのあるもの、見たり聞いたりしたことのある活動について書いてみましょう。

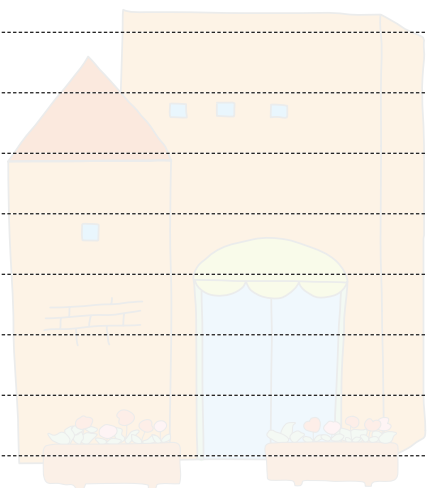
参加したことのある活動	
見たり聞いたりしたことのある活動	

4 わたしたちもやってみよう

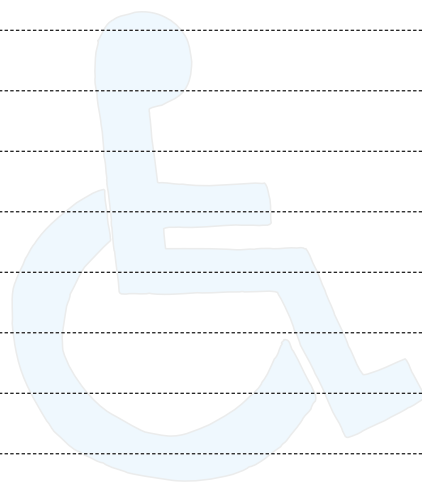
ボランティア活動の輪は、家庭や地域でずいぶん広がっています。その活動内容もさまざまです。そのどれもが、みんなの幸せや、明るく住みやすいまちづくりを願って活動しています。

自分で取り組みそうな活動を見つけて書いてみましょう。後で、その活動をしたときの様子や気持ちも書きましょう。

●きれいなまちに



しょう ●障がいのある人に



●手話

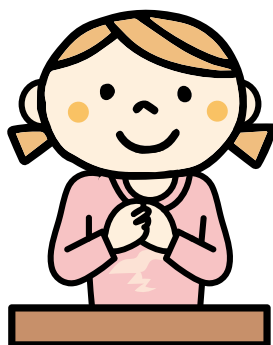
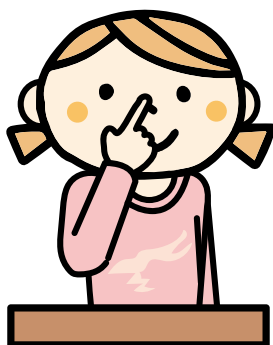
手・指・体を使って表現する耳に障がいのある人のための言葉です。

わたしと

おともだちになりましょう

よろしく

お願いします



ボランティア活動の心構え

- ① まず、あなたの身の回りの気づいたことからやってみましょう。
- ② 相手は何を求めているか、相手の気持ちになってみましょう。
- ③ 無理をせず、自分の生活のリズムに合わせましょう。
- ④ たくさんのことを学んで、自分自身を高めていきましょう。

● 高齢者に



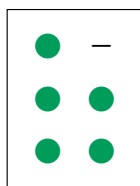
● 困っている人に



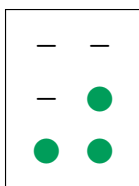
● 点字

たて3こ、横2この6この点を1ますとして、ふくらみの点の組み合わせを指先で読み取る、目に障がいのある人のための文字です。

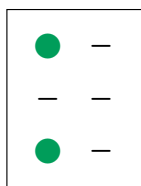
み



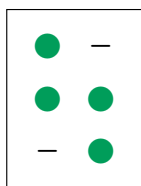
ん



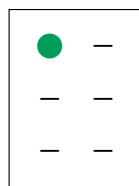
な



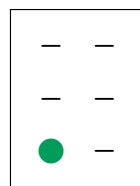
し



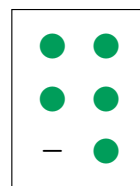
あ



わ



せ



5 福祉ってなんだろう

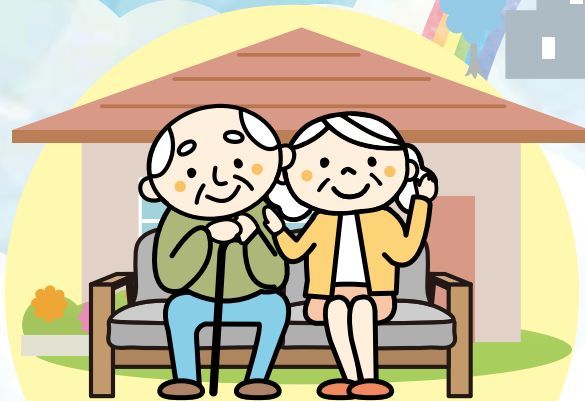
1 福祉の仕組み

みんながより幸せに暮らしていけるように、国や県・市町村では、いろいろな福祉団体や福祉施設、地域の人々と力を合わせて、福祉のまちづくりを進めています。

また地域みんなが支え合って、安心して暮らしていけるよう支援します。

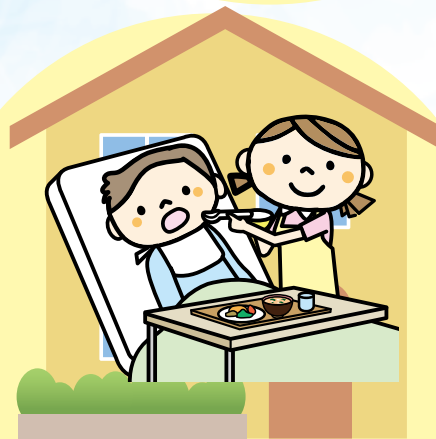


ホームヘルパー



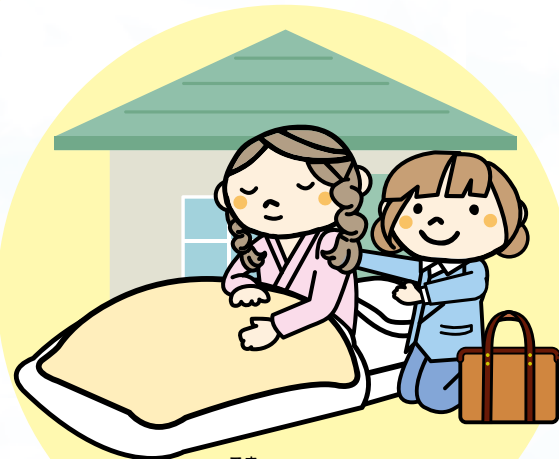
高齢者に

いつまでも豊かに安心して暮らせるように、必要な支援をします。



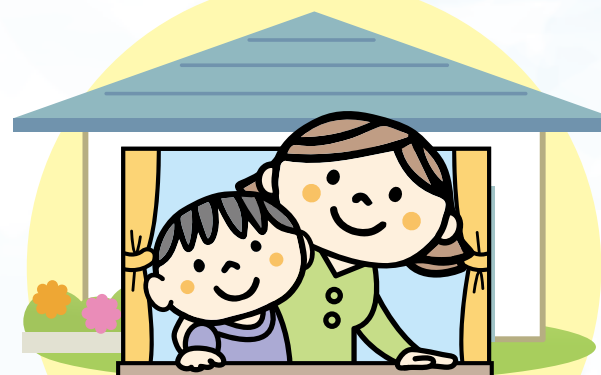
体に障がいのある人に

障がいを乗り越えて、安心して生活できるように、必要な支援をします。



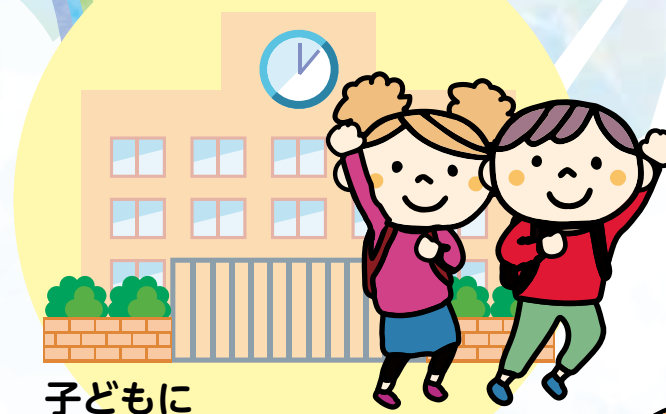
生活に困っている人に

自分の力で生活できるように、必要な生活費などの支援をします。



ひとり親家庭に

母と子、父と子が安心して生活できるように、必要な支援をします。



子どもに

心身ともにすこやかに育つように、必要な支援をします。



保育士



民生委員
児童委員

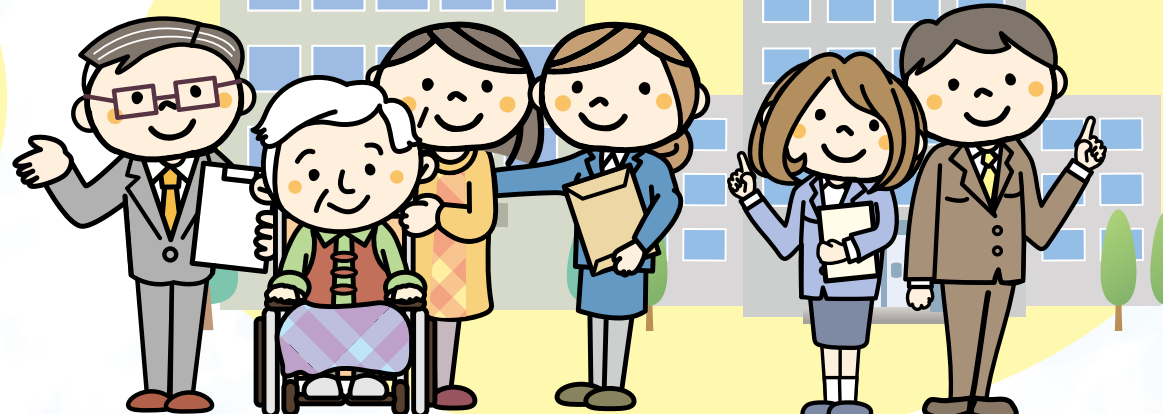


大分市社会福祉協議会
ホルトホール大分内

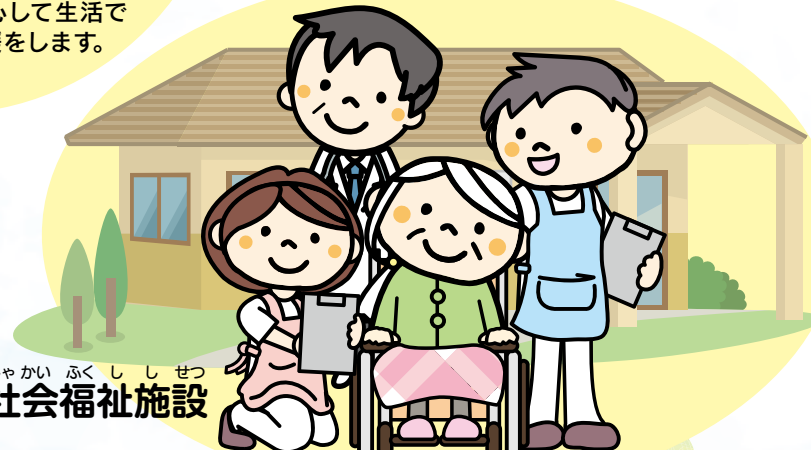
※社会福祉の仕事をする民間の団体です。

大分市役所

福祉事務所



ケースワーカー



社会福祉施設

どんなことをしているか、イラストを見て、調べてみましょう

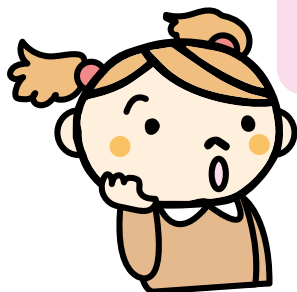


日本国憲法第25条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

2 福祉事務所の仕事



福祉事務所は、どんな仕事をしているのですか？

福祉事務所の人のお話



県や市で、福祉の仕事をしているところを福祉事務所といいます。

福祉事務所では、子どもがすこやかに育つようにしたり、高齢者や体に障がいのある人たちの生活を高めたり、困っている人たちの手助けをしたりするなど、福祉サービスが必要な人の支援をしています。また、安心して生活できるように、いろいろな相談も受けています。

仕事の内容

① 高齢者への支援

介護についての相談や元気な高齢者に生きがいを感じてもらうための場を提供しています。



●ふれあいサロン



●福祉相談

●障がい者に必要な器具

② 障がいのある人への支援

障がいのある人に、障害者手帳の交付の手続きをしています。

また、必要な器具を買うときに、費用のえん助をしたりしています。

歩くことに障がいのある人

・車いすや義肢（人工の足）など

目に障がいのある人

・安全つえ、めがね、点字器など

耳に障がいのある人

・補聴器

③ 子どもがすこやかに育つための支援



●保育所（園）



●こどもルーム



④ お母さんやお父さんのいない家庭への支援

⑤ 生活に困っている人たちのための支援

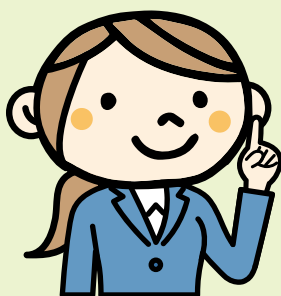
⑥ 災害にあった人たちのための仕事や福祉についての相談

みんなが安心して
幸せに生活できる
ようにいろんな
ことをして
いる所なん
だね。



3 社会福祉協議会の仕事

社会福祉協議会の人のお話



社会福祉協議会は地域の
人々の協力によって、国・
県・市町村では手の届きに
くい住民一人ひとりの福祉
の問題が少しでも解決でき

るように計画を立てたり、ボランティア活動を広げ
たりするなどいろんな活動を行っています。一人で
は解決できないことでも、地域みんなが力を合わせれば、だれもが
安心して住みよい、心のふれ合うまちになっていくと思います。

また、社会福祉協議会は民間の団体で、その事業はみなさんからの
寄付金などで行っています。

社会福祉協議
会は、どんな仕
事をしているの
ですか？



※「社会福祉協議会」を略して「社協」と呼ぶことがあります。

仕事の内容

① 福祉の輪を広げるための 取り組み

地域でかかえているいろいろな福祉
の問題について、調査をしたり、みん
なで話し合ったりして、その解決に向
けた取り組みを支援しています。



●校区での話し合いのようす

また、福祉サービスの^{ないよう}内容や地域での福祉活動の様子のをしょうかい、福祉活動へのみんなの参加をすすめる活動なども行っています。



●「おおいた市社協だより」

② ボランティア活動を広げていくための取り組み

ボランティアをしたい、お願いしたいといった相談に応じ、ボランティア活動につなげています。また、ボランティア体験や朗読・点訳・脳トレボランティア養成講座、災害ボランティア講座などを行い、ボランティアに関する知識を広めています。



●災害ボランティア活動



●点訳ボランティア養成講座

③ 地域の人が行う、助け合い・ふれ合い活動を広げていくための取り組み

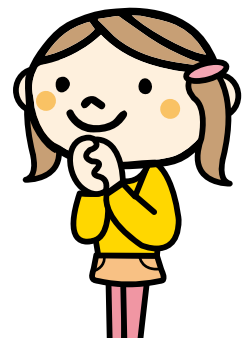
高齢者や障がいのある人、小さな子どもたちが安心して暮らせるよう、地域の人が見守ったり声をかけ合って助け合ったりする活動を広げていきます。

また、みんなのふれ合い・交流を深めるための活動も広げていきます。

④ 困りごとの相談

仕事や暮らしの中での色々な困りごとの相談に対して、解決に向けた支援をします。

たくさんの方が協力し合って、安心して住みよいまちになっていくんだね。



⑤ 生活に困っている人への支援

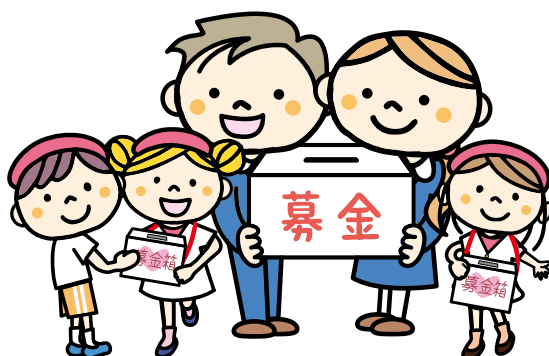
生活に困っている人へお金を貸したりすることにより、安定した生活が送れるよう支援します。

4 福祉を支える募金活動

市民の一人ひとりにも福祉のまちづくりに参加してもらうために募金運動が行われています。

赤い羽根共同募金

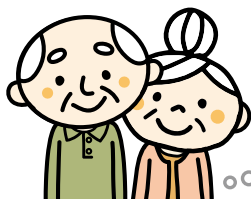
赤い羽根共同募金は、毎年10月1日から全国いっせいに行われる助け合い運動です。大分市でも、自治会長や民生委員・児童委員をはじめ多くの市民のみなさんが募金活動に協力しています。



●街頭募金

赤い羽根共同募金の使われ方

高齢者の
幸せのために！

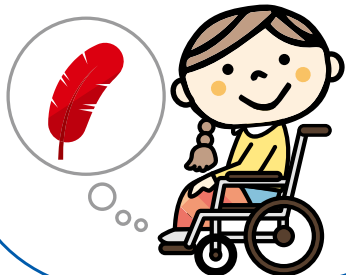


子どもたちの
幸せのために！



令和5年度
大分県内の募金額 **1億1,695万円**

体に障がいのある
人の幸せのために！



お父さんや
お母さんの
いない家庭の
幸せの
ために！



さいまつ 歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金は、みんなが明るいお正月をむかえられるようにと始められた募金で、毎年12月1日から行われるたすけあい運動です。

わたしたちも、児童会を中心に全校で取り組んでいます。

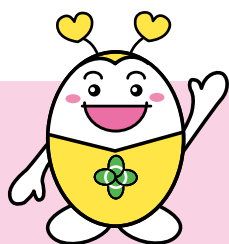
募金で集まったお金は、福祉施設で生活している人やひとり暮らしの高齢者への支援などのために使われています。



その他の募金

福祉活動を支える募金活動には、寄付金つきお年玉年賀はがきや発展途上国の子どもたちをえん助するためのユニセフ募金などがあります。

また、台風や地震などで災害にあった人々を支援するための義援金もあります。



募金について、わたしたちはどのような気持ちで取り組みればよいのでしょうか。話し合ってみましょう。

あとがき

わたしたち人間は、一人では生きていけません。

共に生きるということは、みんなの幸せを願い、みんなで助け合っ
て生きていくということです。障がいがあるとかないとか、男女、
国^{こく}せきのちがいがあるということなどで差別されることがあっては
絶対^{ぜったい}にならないのです。

すべての人の命は尊^{とうと}いものです。すべての人が幸せに生きる権利^{けんり}
をもっていて、だれもそれをさまたげることはいけません。差
別に気がつかなかったり、知らないうちに周りの人の人権を傷つけ
たり、気づかないふりをしたりすることは、「幸せに生きたい」と
いう多くの人の思いや権利をどんなにうばっていることなのか考え
ていかなければなりません。

大切なことは、「共に感じる心」「思いやりの心」「助け合う心」
をみんながもつことです。一人ひとりの苦しみやなやみを、みんな
で助け合い「共に生きる」社会にしようとする気持ち、それが『ふ
くしの心』なのです。

明るい社会を築^{きず}きあげていくために、この福祉副読本『ふくしの
心』を活用し、家庭や学校、地域^{ちいき}で「福祉の輪」がいっそう大きく
広がっていくことを願っています。



編 集	大 分 市 福 祉 保 健 部
	大 分 市 福 祉 事 務 所
	大 分 市 教 育 委 員 会
発 行	大 分 市 社 会 福 祉 協 議 会
	〒 870-0839 大 分 市 金 池 南 1 丁 目 5 番 1 号
	J:COM ホルトホール大分 4 階
	☎ (097) 547 - 8154
印 刷	令和 7 年 4 月 1 日
	い づ み 印 刷 株 式 会 社